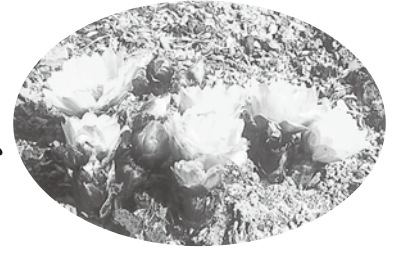




福寿草



発行: 社会福祉法人辰野町社会福祉協議会・辰野町ボランティアセンター・情報紙編集委員会 TEL.41-5558

城前の桜並木 満開の桜の下でお花見

今年の城前の桜は、昨年より 10 日ほど遅く、4 月 8 日に開花し、12 日に満開となりました。お花見縁側と城前通り桜まつりに、多くの方が足を運んでくださりお花見を楽しみました。



辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会主催

お花見縁側

4 月 8 日(月)~4 月 18 日(木)までお花見縁側を行いました。今年は、町内の高齢者施設や、地域のサロンのみなさんも見え、コロナ禍前の日常が少しずつ戻って来たなあと感じました。



いいまちたつの知らせ隊のみなさんの町内の桜の写真展をご覧いただきました。

来所されたみなさんに桜茶の無料接待を行いました。

新町の「ミニデイサービスよつば」のみなさんがキッチンペーパーの芯で作ってくれた桜を窓や館内に飾りました。



辰野国際交流協会主催

第16回城前通り桜まつり

4 月 13 日(土)、5 年ぶりに城前通り桜まつりを開催しました。満開の桜の下で辰野中学校の吹奏楽部と合唱部の発表、ワイトモ訪問団の帰国報告とパフォーマンスが行われました。

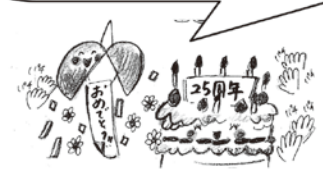


写真提供
辰野国際交流協会



“ボランティアセンター” “辰野ボランティア・市民活動ネットワーク” 令和6年度事業計画

今年、ボランティアセンターは、25周年を迎えます。20周年を盛大に行った為、特に記念事業は行いませんが各行事にお出掛け下さい。



今年度のボランティアセンターと辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会の事業計画です。

太字部分の事業は、ボランティアさんだけでなく、一般のみなさんにもぜひご参加いただきたい事業です。詳細が決まりましたら随時ホームページや新聞等で広報していきますので、ぜひご参加ください。

月	辰野ボランティア・市民活動ネットワーク	ボランティアセンター
4月	お花見縁側 4/8(月)~4/18(木)	ほのぼのランチ調理ボラ食品衛生講習会 ボランティア活動振興事業助成金募集 4/10(水)~5/10(金)
5月	ボランティアセンター備品チェック ボランティアセンター利用団体連絡会 5/8(水) ボランティア・市民活動振興事業助成金審査会	
6月		
7月	ボランティアセンター利用団体大掃除① 7/20(土)9時~10時 辰野ボランティア・市民活動ネットワーク交流会 7/20(土)10時	町内福祉施設ボランティア担当者連絡会議 福祉学習推進校連絡会議
8月	運営委員会視察研修	
9月		
10月	ボランティアセンター秋まつり週間 (被災地応援物産展) ボランティアセンター秋まつり 10/19(土)	
11月	ボランティアセンター利用団体大掃除② 11/9(土)9時~10時	町内小学校福祉体験 上伊那ブロックボランティア交流研究集会 11/23(土) 会場：宮田村
12月	ボラセン掘出し物市(手芸材料バザー)	福祉ボランティア学習模造紙発表
1月		
2月	協働のまちづくりをすすめるボランティア懇談会 2/15(土)	
3月		ボランティア・市民活動振興事業助成金報告 福祉学習推進校助成金実績報告
年間を通して	定例会毎月第1火曜日 13時30分 ボランティア情報ボードの管理 ボラショップ精算(奇数月末に実施) 城前のサクラ見守り隊(運営委員OB他)との連携	情報紙福寿草の発行 各種体験講座 みんなで楽しく!座ってできるストレッチ講座 毎月第1水曜日 10時~11時

春の体験講座を行いました！

クラフトテープでカラフルなだるまを作ろう！

楽しもう！チョークアート体験

季節の行事に合った作品を作っている人気のクラフト講座。今回は、何度倒れても立ち上がる「七転び八起き」の縁起物のだるまを作りました。



春休みの子どもも一緒に参加できる講座として、初めて行いました。下書き付きボードにオイルパステルを使って指の温かさで色をなじませてチューリップや桜を描きました。



朗読グループ「ひびき」の朗読発表会が行われました

朗読グループ「ひびき」が、「第21回 お話を聴くひととき」をオーディオを会場に行い、約30名の参加がありました。

今回は、会員がそれぞれの想いで好きなお話、聴いて欲しいお話しを選んで朗読しました。



◆参加者の感想◆

肉声でその場で聞く臨場感のあるお話しは、ストーリーが生き生きしていて、目を瞑って聴くと頭の中で外国や素敵なお茶店のイメージを膨らませて聞きました。それぞれの方の選んだ本は個性があって、バラエティーに富んでいて良かった。声の質の違いもあっておもしろかった。



辰野町ほたるの里
世代間交流センター

茶の間

通信111

TEL / 0266-41-2180
FAX / 0266-41-2187
月～土・9:00～20:00

●茶の間ギャラリー

4月5日(金)～5月1日(水)に開催しました

切り絵教室「切り絵で綴る12ヶ月展」

茶の間を会場に毎月1回活動している

「切り絵教室」の皆さんの作品展。

季節の花や行事などをモチーフにした

四季折々の絵柄の切り絵でした。



●茶の間ギャラリー

5月の予定は後日新聞等でお知らせします

●オレンジカフェ

5月15日(水) 10:00～12:00

●元気快福相談会

5月22日(水) 13:30～15:30

●山野草茶話会

5月24日(金) 13:30～15:30

5月の
予定

令和6年度「茶の間」のサロン・事業のご案内

☆山野草茶話会☆

お茶を飲みながら季節の山野草について講師の先生とお話をします。

【開催日】毎月第4金曜日に開催しています！

【時間】13:30～15:30

【参加費】200円(資料、飲料代として)

【持ち物】特にありません。

★茶の間はどなたでもご利用できます。(営利目的や政治宗教団体は除く)辰野駅やデマンドタクシーを利用される方の待合や、会合、サークル活動、学生のみなさんの学習の場に、また作品展もできますので会場をお探しの方はぜひご利用ください。ご利用希望の方はお気軽にご相談、ご予約ください。お問合せお待ちしております。

★折り紙サロンは4月から都合により不定期開催になりました。開催案内は社協ホームページ、新聞、ほたるネット等でお知らせいたします。

お知らせ掲示板



お問い合わせ・お申し込みは

ご意見・ご感想をお寄せください

辰野町ボランティアセンター
〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1
TEL (0266) 41-5558 FAX 41-3922
平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

街かど朗読会「モーニング サロン」にお出掛け下さい！

朗読カフェでゆったりと過ごしませんか。

日時：5月27日(月)午前10時～12時

場所：オーリアッド(辰野交番東側2軒目)

参加費：600円(飲み物+お菓子)

【前回のアンケートから】

- とてもよい会でした。また是非開店して下さい。朗読作品も私どもに相応しいテーマで良かったです。(80才)●すべて感動。ティータイム、お喋りができて大変良かったです。●大勢の方、昔の方とも会うことができました。●また来たいです。

お申し込みは090-9357-0595(赤羽)まで

ボランティア・市民活動振興事業助成金 申請受付中です！

辰野町内における福祉的課題に取り組むボランティア・市民活動団体・グループに対して、活動を応援する助成金です。申し込み締め切りが5月10日(金)となっています。お問合せ・お申し込みはお早めにボランティアセンターまで。

大型アルミ収集・アルミ缶収集にご協力いただきありがとうございました

令和5年度のアルミ収集の集計は、下記の様になりました。ご協力ありがとうございました。

引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

【アルミ缶収集】年間通して・・・2136kg

【大型アルミ収集】8月・3月の2回実施

- ・アルミサッシ：98kg
- ・アルミ鍋等：21kg
- ・ステンレス：2kg

アルミ缶はボランティアセンター東側と老人福祉センター入口脇に設置のコンテナで常時回収しています。



ボランティア情報紙「福寿草」をご希望の方は辰野町ボランティアセンターにありますのでお気軽にお出かけください。

どまんなか 商店街のふーちゃん
17. お花の赤ちゃん 作：花森きのこ



アルミ収集ボランティアの会よりアルミ収集の還元金で令和5年度に寄贈いただいた備品です。



大型穴あけパンチ



プロジェクターと専用バッグ



HDMIコード5m2個



DVDプレイヤー

寄贈いただいた備品は、登録団体に限らず無料で貸し出しをしています。マイクとスピーカーのセットやスクリーンなどもあります。ご利用ください。



つばき

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは・・・」今、大河ドラマの主人公である紫式部は『枕草子』の中でそう言った(余談だが、我が家はテレビがないので、吉高由里子さん演じる紫式部にはお目にかかったことはない)。真夜中まで仕事をして、朝は日が登ってから起きる生活をしている個人事業主としては、なかなか縁のないのが「夜明け前」の景色だけれど・・・それでも海の街で育った私がこもりに引越してきて6年。山々が作り出す表情は季節・時間・天気ごとに豊かに移ろい、その自然の美しさに圧倒されながら眺めるのである。手元に目を向けがちなの日々の仕事から少し視線を上げて、山の移ろいとその雄大さを眺める時間も作りたいものである。

苔米地花菜

次回のつばきは
内田愛香さんです。

